

「磁石山」その後

「磁石山」のことについては、前号(21号)で、興味をもつにいったいきさつのおつなことを書きました。言わば、第二期学習会の「副産物」のようなものです。さて、その後、いくつかのことを教えてもらいましたので、それを、ここで報告しておきます。

よき手紙も...

前号の城雄二さんからの手紙に、高山の「磁石山」のことについて、くわしく語っておられる。山口大の堂屋春雄さんのことが書いてありました。そこでさっそく、あつかましく手紙を書いてみました。そしたら、ていねいな返事と資料をいただきました。

やはりカミナリか

その手紙には、いくつかのことを質問しました。それについて書いておきます。

質問 徳佐の登山というのは、カミナリによって磁化したというのはほんとうでしょうか。

答 カミナリによると現在までの結論。

質問 ② そうだとすると、いつごろの

ことなんでしょう。

答 ① いくつかのことか全く不明。

質問 ③ またどのようになり磁化したのかくわしいところを、教えて下さい。

答 磁力は山頂以外のものの数10倍しかし、磁力をもちうる可能性(磁鉄鉱などの含有量)、全山のハニレイ岩ではほぼ同じ。

別のところには...

質問 ④ この地以外では、全国で知られているところはないのでしょうか。

答 こちらの地で何れもと情報を頂戴したいものです。向平ぶろく、「磁石山」としては、和歌山の新河のものが有名です。以前より採取にいきたい所存ですが、まだ架していきせん。

質問 ⑤ 高山の近くで、島根にある「松島の磁石岩」というのは、この高山と同じものなのでしょうか。

答 ⑥ 島根のものは、あまり知られていないよう。これについては、最近かなりくわしく調べました。巨谷高山のものと同様の成因と考えられます。

質問

① その他、この磁石石のことに
ついて、どんなことで教えて
下さい。

② 国本田油行が、山口市北方の
山に、磁石石をとりに行く話が
ありますが、それ以上のことは
まだ不明。

日本アルプスの美ヶ原岩が
須佐のものとともに、カミナリ
の剣として世帯に知られている

事実については。

また、この「松島の磁石石」を
高山のものと誤って、報告されてい
ることもあるそうです。

さす、さす、山口へ行ってみた
くなりますが、まだ計画が立ちません
でも、絶対にそのうち行きますから

堂雁先生には、こうして ていねい

ね。

(クスタ)

に、質問に答えて

いたゞくだけでな

く、いくつかの資

料、コピーを送っ

ていただきました。

英語でかわれた

論文もあり、ボク

たちには、少し益

がたたぬというの

もあるのですが、

とても、くわし

い資料もあります。

特に、おもしろい

など、思ったのは、

前号の最後の方で

られた、「松島の

磁石石」のことを、

堂雁先生も気づか

れ、くわしく語ら

られていたという

山口県自然研究会編「山口の自然」

六月社一九六五年十一月刊

高山の磁石石

阿武郡須佐町の北方に高山と呼ぶ海拔五三三メー
トルの小山がある。この山はほとんど全山斑縞岩と
いう黒色の深成岩から成っている。この岩石は研磨
面が美麗なため古くから有名で、建築材、装飾材等
として原石のまま、あるいは須佐町において加工の
上、全国各地に送られている。斑縞岩は山麓に分布
する第三紀中新世の須佐層(約二五〇〇万年前)を
貫き、地質学的に餅餅というちようど丸餅を伏せた
ような面白い形態をしている。その貫入は恐らく約
二〇〇〇万年前と考えられ、日本における最も新し
い深成岩類の一つに数えられる。第三紀層は斑縞岩
の熱のためホルンフェルスという堅硬な岩石に変化
している。海岸の断崖に見られるホルンフェルス化

した砂岩・頁岩の互層は極めて特異な景観を呈し、
光客の目を楽ませさせてくれる。
さて、高山の山頂には磁石石と呼ばれる非常に磁
性の強い岩石がある。磁性の強いため磁石の針も狂
うほどである。磁石石をつくる岩石は高山の主体を
成す斑縞岩とほとんど差がないが、磁性だけは二〇
〜三〇倍もあるという。山口大学堂面春雄氏は、こ
れは恐らく急激な帯磁作用により生じたもので、最
も可能な考え方としては落雷の作用があげられると
述べている。春・秋の一日、第三紀層中の化石採集
を行ないつつ、高山山頂までのハイキングを楽しむ
のも、また素晴らしいレクリエーションといえよう。

(村上)